

豊橋市議会 だより

No.306

2016年11月1日発行

平成28年9月定例会

主な
内容

特集「議会 de クイズ」……2～3

9月定例会の概要……4～5

審議結果……6

いっぱん質問……7～16

12月定例会の開催日程……16



「ステップアップ!」

表紙写真シリーズ「ユース・アングル」

撮影とコメント

中田千尋さん(豊橋西高校写真部)

Q…どんな思いでシャッターを切りましたか?

A…体育大会の種目の中で、クラスで1番盛り上がるのは長縄です。一致団結している瞬間を狙ってシャッターを切りました。

Q…このまちに期待することは?

A…お祭りや花火大会など、行事・イベントの活性化です。そして、豊橋以外の方にもたくさん来てもらえるようにして、豊橋の良さを知ってもらいたいです。



クイズ大会は2人1チームの学校対抗で行われました。予選は全部で24問。議会、選挙、豊橋、時事の四つのジャンルから出題され、問題ごとに決められた1〜3点の得点が入ります。高い得点を獲得した上位8校(内、2校は敗者復活戦で勝ち抜き)が決勝へと進みます。

○クイズ大会のルール○

公職選挙法の改正を受けて選挙権が引き下げられたことにより、中学生も近い将来、有権者となります。彼ら彼女らに楽しみながら議会への関心と理解を深めてもらいたく、クイズ大会という形で機会を設けました。また、実際に自分の目で本会議が行われる場所を見てもらい、より身近に感じてもらうため、中学生にはなじみのない議場で行いました。

■議場でクイズ大会?!
8月20日土曜日、市内23校の中学校から各校2名ずつ、計46名の中学生が豊橋市議会議場に集まりました。



市制施行110周年を記念し、豊橋市議会は、市内23校の中学生を対象としたクイズ大会を開催しました。選挙権が引き下げられたことで、近い将来有権者となる中学生に、楽しみながら議会への関心と理解を深めてもらいたく、このようなイベントを企画しました。



- ①いつもは議員が座る席に、この日は中学生の皆さんが着席。
- ②答え合わせで一喜一憂。
- ③2人で相談中。さあ、答えは出るかな?
- ④決勝戦では早押しボタンが登場!ピンポンの音がクイズらしさを演出していました。



⑤⑥フリップボードをあげて答えを一斉にオープン。正解発表の瞬間はハラハラします。
⑦決勝での上位3校とマリンバ演奏者のお二人、議長、副議長で記念撮影。

■意外と難しい、予選問題。

全23校により争われた予選。○×問題、3択問題、記述式問題の3種類が織り交ぜて出題されました。制限時間10秒の間に2人で相談して答えを出します。

議会の問題に関しては、事前に参加者に配布した解説本をよく読んできてくれたため、高い正答率となりました。

接戦の末、予選上位6校と敗者復活戦を勝ち抜いた2校、合計8校が決勝へと駒を進めました。

■ちよつと息、マリンバの音色

予選と決勝戦の合間には、綺麗な音色に議場が包まれました。

桜丘高校出身の篠崎さんとパートナーの齋藤さんによるマリンバの演奏。深みのある音が響き渡り、議場がまるでコンサート会場のように。フル回転していた頭も一度休憩し、みなさん聞き入っていました。

■スピードが命！白熱の決勝戦

予選と同じく2人1チームの学校対決。決勝戦では本格的な早押しボタンが登場し、テレビのクイズ番組さながらの白熱した戦いとなりました。

スピード勝負の激戦を勝ち抜いて、見事優勝したのは東陽中学校でした。

■議会の仕事場ってどんなところ？

クイズ大会終了後には、議員の案内による議会の仕事場見学ツアーも行いました。中学生にとつて、議長室や委員会室等はおそらく来たことのない部屋です。どのようなことが話し合われているかなど、説明を聞いてもらいました。

次はぜひ、実際に本会議や委員会等が開かれている時に来て、議論されている様子を傍聴していただきたいです。



⑧桜丘高校出身の篠崎さんによるマリンバの演奏。議場内に響き渡る綺麗な音色に癒されました。
⑨議会の仕事場見学ツアーでの一場面。委員会室や議会図書室など議会に関する各部屋を見て回りました。

成績

○予選	1位 南陽中
	2位 吉田方中
	3位 豊岡中
	3位 東陽中
	5位 牟呂中
	6位 高師台中
敗者復活戦	
本郷中	南稜中

○決勝

- 1位 東陽中
- 2位 豊岡中
- 3位 南陽中

優勝者は、11月11日に一日議長を務めていただきます。その様子は、次号(平成29年2月1日発行)の議会だよりにて掲載します。

■さつじん

議場でクイズ大会を行うのは豊橋市議会史上初の試みでした。中学生に議会について理解を深めてもらうには、出前講座等で学校へ赴き、授業の形で詳しく説明する方法もあると思います。しかし、それでは難しい話になってしまい、中学生にとって興味を持てる内容になるのかわかりません。やるのであれば、楽しく、それでいて分かりやすく学べる方法はないかと模索し、クイズ大会という形に至りました。今回参加していただいた中学生のみなさんには楽しみなながらも、議会について学び、そして一歩、大人への階段をのぼっていただけたのではないのでしょうか。

今回のイベントが今後、議会や選挙について考えるきっかけになればと思います。

TOYOHASHI CITY COUNCIL



決算特別委員会の様子

今回の議会では、

こんなことが決まりました。

9月定例会は9月5日から30日までの26日間の会期で開かれました。

今回の定例会では、3日間にわたり18人の議員が一般質問を行いました。

次に、平成28年度一般会計補正予算など予算案3件、平成27年度一般会計・特別会計・企業会計の決算認定12件、条例案3件、単行案3件および報告2件の合計23件の市長提出議案等と、市民から提出された請願1件および陳情5件について、委員会審査を行いました。

最終日の30日には、審査を終了した議案をそれぞれ可決等し、委員会への付託を省略した議案3件を可決等した後、市長から5件の報告を受けました。続いて、新たに地方創生推進調査特別委員会の設置が決定され、最後に、議員提出の意見書3件をそれぞれ可決し、9月定例会に付議された事件の審議は、全て終了しました。

※審議結果については、6ページをご覧ください。

会議日程

9月5日	本会議(第1日)
6日	本会議(第2日)
7日	本会議(第3日)
	一般会計予算 特別委員会
	決算特別委員会
14日	建設消防委員会 福祉教育委員会
15日	環境経済委員会 総務委員会
16日	一般会計予算 特別委員会
20日	決算特別委員会
21日	〃
26日	〃
27日	〃
30日	本会議(最終日) 地方創生推進調査 特別委員会

補正予算

- 平成28年度豊橋市一般会計補正予算(第4号)
- 平成28年度豊橋市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成28年度豊橋市介護保険特別会計補正予算(第1号)

福祉の関係として介護事業者の介護ロボット等を導入する費用の一部助成、子育て支援として事業者が保育事務支援システムを導入する費用の一部助成のほか、法人保育所、認定こども園整備費補助金を増額、保健衛生の関係として口腔保健支援センターの設置、防災・環境の関係として南消防署に太陽光発電設備蓄電池の設置、教育の関係としてアクアリーナ豊橋の屋内プールに競技用スターティングブロックなどの導

入、篤志の方からの御寄附について、御意向に添い、障害者(児)の福祉向上に資するほか、特別会計では、国民健康保険事業として平成30年度予定の愛知県への財政運営主体移行準備のため、システム改修経費の補正、介護保険事業として27年度の精算により生じた返還金の補正など、一般会計9552万2000円の増額、特別会計3603万2000円の増額、合計1億3155万4000円の増額補正をするものです。

○一般会計

歳入1225億6753万円、歳出1181億1459万円で、歳入歳出の差引額は44億5294万円となり、このうち翌年度へ繰り越すべき財源2億3978万円を差し引いた実質収支は42億1316万円となり、前年度と比較して9628万円増加しました。また、実質収支の1/2を下らない金額21億1000万円を財政調整基金へ繰り入れることとしました。

○特別会計

決算規模は8会計の合計で歳入889億4030万円、歳出855億7958万円で、歳入歳出の差引額は33億6072万円となりました。

○企業会計

3会計の合計で歳入539億5743万円、歳出517億4210万円で、歳入歳出差引額は22億1533万円となりました。

工事契約

○工事請負契約締結

豊橋市今橋町地内陸上競技場スタンド建設工事のため9億936万円、高根小学校体育館および校区市民館改築工事のため3億5208万円の契約をそれぞれ締結するものです。

印鑑登録

○豊橋市印鑑条例の一部を改正する条例
個人番号カード(マイナンバーカード)を利用し、市役所本庁舎およびコンビニエンスストアに設置された端末機により印鑑登録証明書を交付することに伴い、その申請手続きを規定するため、現行条例の一部を改正するものです。

物品購入

○物品購入契約締結

豊橋市消防団芦原分団等に配置されている小型動力ポンプ付積載車の老朽化に伴う更新のため、4499万4650円の契約を締結するものです。

福祉

○豊橋市社会福祉審議会条例の一部を改正する条例

精神障害者福祉に関する事項を社会福祉審議会の調査審議事項に追加するため、現行条例の一部を改正するものです。

広域連合

○東三河広域連合規約の変更について
東三河広域連合における地方版総合戦略の策定に向けて、計画の策定に関する事務を現行規約に追加するものです。

子育て

○豊橋市幼保連携型認定こども園条例
豊橋市立こじかこども園を幼保連携型こども園として設置するために、その名称、入園の手続き等について条例でこれを規定するほか、関係条例について所要の整備を図るものです。

教育

○教育委員会委員の任命について
教育委員会委員に高橋豊彦氏を任命するものです。(平成28年9月30日任期満了につき再任)

○豊橋市母子父子福祉手当支給条例の一部を改正する条例

児童扶養手当法施行令の一部が改正されたのに伴い、規定の整備を図るため、現行条例の一部を改正するものです。

平成28年9月定例会 議決結果

○賛成 ×反対

議案名	議決結果	会派名 ()は所属議員数						
		自由民主党 (21)	公明党 (5)	まちなかフォーラム (4)	日本共産党 (3)	紘基会 (1)	豊橋だいきき会 (1)	無所属 (1)
補正予算 ・平成28年度豊橋市一般会計補正予算(第4号) ・平成28年度豊橋市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) ・平成28年度豊橋市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
決算 ・平成27年度豊橋市一般会計歳入歳出決算 ・平成27年度豊橋市競輪事業特別会計歳入歳出決算 ・平成27年度豊橋市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算 ・平成27年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計歳入歳出決算 ・平成27年度豊橋市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算 ・平成27年度豊橋市地域下水道事業特別会計歳入歳出決算 ・平成27年度豊橋市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算 ・平成27年度豊橋市下水道事業会計決算 ・平成27年度豊橋市介護保険特別会計歳入歳出決算 ・平成27年度豊橋市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	×	○	○	○
条例 ・豊橋市印鑑条例の一部を改正する条例 ・豊橋市社会福祉審議会条例の一部を改正する条例 ・豊橋市幼保連携型認定こども園条例 ・豊橋市母子父子福祉手当支給条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○
その他 ・工事請負契約締結(陸上競技場スタンド建設工事) ・工事請負契約締結(高根小学校体育館及び校区市民館改築工事) ・物品購入契約締結(小型動力ポンプ付積載車) ・東三河広域連合規約の変更 ・教育委員会委員の任命	可決	○	○	○	○	○	○	○
議員提出 ・返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書 ・チーム学校推進法の制定を求める意見書 ・定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○
請願 ・予算説明書に対する検索を可能とすることについての請願	不採択							
陳情 ・福祉・保育人材確保対策に関する陳情 ・平成29年度教育予算編成に関する陳情 ・定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情 ・旧生活家庭館の平成29年度廃止の見直しを求める陳情 ・まちなか図書館(仮称)実施設計(素案)策定における市民協働についての陳情								

目の不自由な方のために、市議会だよりの点字本のほか、内容を録音したCD・カセットテープを無料でお渡ししております。高齢などで活字が読みづらいという方でも、ご利用ください。

お問い合わせ 議会事務局 議事課

TEL 51-2920 FAX 55-9020

Email gikai-giji@city.toyohashi.lg.jp



市政に対する

いっばん質問

18人の議員が、市長に質問しました。

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行いました。
今回のいっばん質問で、あなたの生活にかかわる内容はありますか？



子どもの体力向上について

公明党豊橋市議団

鈴木 博議員



問 保育園等での子どもの体力向上の取り組みについて聞きたい。また、8歳までに神経回路の90%が完成してしまうということを考えたとき、幼、保、小学校低学年で連携して共通の運動プログラムを進めることについての考えを聞きたい。

答 幼児期における体力づくりは、健康な心と体を育てるといふ点からも大切なことであると認識しています。

保育園等では、多くの園が遊びを通じて体を動かし、また専門講師等により跳び箱、鉄棒、ダンスやマラソンなど、各園がそれぞれの特色を生かしながら、子どもの健やかな成長や発達を促す取り組みを実施しており、体力向上につながるものと考えています。

共通の運動プログラムを進めることについては、心と体の健康は、それぞれが相互に密接に関わりがあることは十分に認識しており、各園に対して、子どもの

体力向上に積極的に取り組むよう依頼しています。一方で、それぞれの園が取り組む運動プログラムは、その園の教育・保育理念に沿った最良のプログラムを取り入れ体力づくりを行っており、各園の特色にもなっています。が、どのような運動プログラムを取り入れているのか、各園相互の情報共有ができていないといった面もあるため、それぞれの園で取り組んでいるプログラムを共有できる場の提供に努めていきたいと考えています。

また、保育園等における子どもの発達段階に応じた体力づくりの取り組みを小学校につなげることができるよう、教育委員会とも連携して勉強していきたいと考えています。

その他の質問項目

- ・狭あい道路の整備について
- ・夜間中学の設置について
- ・小型無人機「ドローン」の活用について

子どもの貧困への対応について

日本共産党豊橋市議団

齋藤 啓議員



問 子どもの六人に一人が貧困状態にあるという中で、子どもの貧困についての、市の認識、実態の把握について聞きたい。また、総合的な対策と数値目標を掲げた「子ども貧困対策計画」等の策定についての考えを聞きたい。

答 子どもの貧困の要因としては、ひとり親家庭をはじめとして、収入環境の厳しい家庭の増加や貧困が世代間で継承される「貧困の連鎖」が生じているものと認識をしています。

苦しい状態に置かれた家庭、その子どもたちが、こうした現状を声に出すことがないことから、貧困の実態は見えにくく、支援の制度がこうした子どもたちに届いていない、あるいは必要な支援がなされていないなど、実態の把握が急務であると考えています。

実態の把握については、県の調査にあわせて、本市独自に調査を実施するとともに、教育や保

育などの現場で子どもたちに接している職員や主任児童委員、庁内関係部署の相談窓口担当者に該当事例のヒアリングも進めており、今後の施策展開に生かしたいと考えています。

「子ども貧困対策計画」等については、「子ども・子育て応援プラン」に貧困対策としての支援を規定しており、新たな計画策定は予定していませんが、調査を通じて明らかとなる課題については、子どもの状況に応じた必要な施策を、生活、教育など体系的に整理、検討した上で、計画的かつ速やかに施策を推進していきたいと考えています。



水害対策について

公明党豊橋市議団

沢田都史子議員



問 豊橋河川事務所が公表した想定最大規模の降雨による豊川洪水浸水想定区域等を受けての本市の対応について聞きたい。

また、避難行動に結びつける方策としての本市におけるタイムライン作成状況と今後の取り組みについて聞きたい。

答 本想定の特徴は、前提となる降雨量がこれまでの約2倍になったこと、家屋倒壊等氾濫想定区域が新たに示されたことの二つとなり、まずはそうした内容を対象となる地域住民の皆様に理解していただくことが必要となります。

また、浸水範囲や浸水深の拡大により、被害が広範な区域に及ぶことから、隣接市との連携の重要性がますます高まったと言えます。

公表後、豊橋河川事務所および本市、豊川市、新城市の3市と関係機関で構成される豊川水防災サミットが設置され、

さまざまな課題が検討されています。

今後、ここでの議論をもとに、浸水想定区域図等により、住民に対して水害リスクを具体的に示すとともに、隣接する豊川市と情報伝達や広域避難の在り方などについて協議するなど、関係機関が一体となり、水防災サミットが目指す逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化を目標に、住民目線に立った防災対策に取り組んでいきたいと考えています。

タイムラインについては、本市では、昨年度、初動対応タイムラインを作成し、その後も適宜見直しを行っていきます。また、今後、豊川浸水想定を詳細に分析する中で、新たなタイムラインの作成に取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問項目

・本市が目指す小中一貫教育について
・「チーム」学校の実現に向けた本市の取り組みについて

本市の未成年投票について

自由民主党豊橋市議団

尾崎雅輝議員



問 2016年夏の参議院議員通常選挙における国政選挙初の18、19歳による投票の結果は、投票率は全国では54・70%、未成年においては45・45%であった。本市はこの結果をどう捉えるのか。結果と分析、評価、並びに近隣自治体の投票率と比較しての評価について聞きたい。

答 本市における18歳の投票率は56・08%、19歳は44・00%、18、19歳を合わせた投票率は49・99%でした。平成25年の参議院選挙では、20歳代前半の投票率が30・62%であったことを考えると、今回は18、19歳の若者たちの選挙に対する関心が高かったものと見ています。

また、高校3年生に当たる有権者の投票率が68・02%と一番高く、次に大学1年生相当の50・20%、2年生相当42・74%の順となっています。これは、多くの広報媒体で取り上げられたこと、また啓発活動を行ってきたことが要因と考えられ、次回以

降の選挙においても若年層に関心を持っていただく啓発を充実させていくことが重要であると認識しています。

近隣自治体の18、19歳投票率の状況ですが、豊川市52・85%、蒲郡市53・40%、新城市51・11%、田原市52・59%となっており、いずれの自治体も19歳の投票率が18歳に比べて低くなっています。このことから、高校卒業後も引き続き政治について考える機会を持つていただくことが課題であると考えています。

自治体による投票率の差については、その地域の特性などもあり、一概には比較できないものと思っておりますが、今後、県内全体の状況、全国の状況について発表される予定ですので、全国的な傾向を把握し、若年層の投票率向上に向けた取り組みの充実を図っていききたいと考えています。

学力向上の取り組みと

学期制について

自由民主党豊橋市議団

松崎正尚議員



問 各都道府県の学力や地域の特徴をもとに学力向上への取り組みがなされているが、本市の取り組みについて聞きたい。また、現在愛知県内で8市1町のみが導入する2学期制は、長期休暇前に通知表がなく、科目の得意、不得意がわかりにくいとの声もあるが、学期制の考え方について聞きたい。

答 学力向上への取り組みについては、経年による分析を行うため、全国学力・学習状況調査に合わせて毎年学力検査を実施し、各学校に検査結果を報告するとともに指導のポイントを示し、指導改善につなげています。加えて、少人数指導によるきめ細やかな指導・支援、並びに教科担任制による質の高い授業を展開することにより、学習意欲を高めるよう取り組んでいます。また、教職員の学級経営力や授業力等の向上に向けた研修を体系的に進めています。学期制については、本市では

平成19年度より2学期制を実施してきました。導入から10年目となる今日、入試制度の改革や学習指導要領の改訂を含めた時代の変化による新たな教育的ニーズが学校現場に求められてきています。これからの学校教育を見通したとき、子どもの学力向上を含め、さまざまな角度から現行の学期制について検証していくことが必要であると考えています。

教育委員会としては、今まで推進してきた教育施策、各学校の教育活動が、今後さらに充実していくよう、有識者や学校関係者、保護者等で組織する学期制評価検証委員会を立ち上げ、現行の学期制の成果と課題を洗い出し、評価・検証していきたいと考えています。

その他の質問項目

- ・本市のまちづくりにおける公共交通について
- ・本市のスポーツ振興について

市民の憩いとついでに

「水と緑」について

自由民主党豊橋市議団

二村真一議員



問 「輝き支えあう水と緑のまち・豊橋」をスローガンにさまざまな施策が行われる中、実際の市民生活に「水や緑」がどれほど溶けこんでいるのか。公園における噴水などの水景施設の在り方、並びに街路樹の管理や落ち葉処理等における市民連携の在り方について聞きたい。

答 本市では540か所ある公園のうち20か所に水景施設を設置しており、その多くは修景を目的とした施設となつています。稼働状況については、東日本大震災以降節電や節水に努めているため、利用者の多い時間帯を中心に1日数時間程度稼働させるなど、時間調整を行い運用しています。

今後の方向性については、市民ニーズの動向を踏まえながら、老朽化した噴水等の水景施設を改修する際にはドライタイプへの噴水などに転換するなどし、また稼働時間についても、夏休みなどの期間においてはより柔

軟な対応ができるよう努めていきたいと考えています。

街路樹の落ち葉処理等については、委託による落葉樹のせん定業務などを行い、落ち葉の総量を減らす対策を講じていますが、地域住民のボランティアによる協力が不可欠となっております。今後は、樹木の更新時に作業負担の少ない樹種へ変更するなどにより沿線の方々の負担を軽減するほか、ボランティア団体の顕彰制度など、組織の活性化につながるような解決策を地域との意見交換を重ねながら探っていききたいと考えています。

併せて、本年度取り組んでいるストリートデザイン事業においても、市民の意見を取り入れ、地域と行政が連携した維持管理の仕組みなどについて検討したいと考えています。

その他の質問項目

- ・先端技術の活用並びに新産業創出について
- ・海フェスタ東三河の検証について

東京オリパラに向けた

取り組みについて

公明党豊橋市議団

宮澤佐知子議員



問 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、国は全国の地方自治体から、ホストタウンとしての登録を広く募集し、本年6月現在で豊橋市を含む91件が登録されているが、登録までの経緯および登録後の取り組みについて聞きたい。また、本市の学校教育における位置付けについても聞きたい。

答 本市は、長年にわたってさまざまな分野で交流の深いドイツ連邦共和国と、愛知万博での「二市町村二国フレンドシップ事業」をきっかけに交流を継続しているリトアニア共和国の2か国を相手国として、ホストタウンの登録をすることができました。

登録後の取り組みについては、市民に知ってもらうために、イベント等さまざまな場面で、両国の紹介、本市とのかかわりなど、パネル等を使った周知を図っていきたいと考えています。また、事前合宿の誘致にも力を入れていき、ドイツは、関係者に協力をい

ただいているフェンシング競技、リトアニアは、前回の視察でアクアリーナが高く評価されたことから、水泳競技の事前合宿を誘致したいと考えています。

学校教育における位置付けについては、スポーツはもちろん、環境、貧困、人権等の地球規模の課題への関心の高まりのほか、国際理解・国際感覚の醸成など、多くの生きた教材がそろっていることから、千載一遇の教育機会と位置付け、各学校の教育活動の中にどのような形で取り入れていくのかなど、効果的な取り組みを検討する必要がありますと考えています。



イトーヨーカドー豊橋店

閉店について

まちフォーラム

芳賀裕崇議員



問 イトーヨーカ堂の親会社であるセブン&アイ・ホールディングスは収益改善が見込めない店舗について閉鎖すると公表し、報道機関の取材では、2016年度中に閉店する店舗の中に豊橋店の名前があつたが、閉店決定時の情報提供、本市に与える影響の認識および今後の対応について聞きたい。

答 本市への情報提供については、その都度、豊橋店の関係者に対し、売り上げなどの経営状況、閉鎖店舗の情報等を聞き取つてきましたが、親会社から、閉店に関する具体的な連絡は受けていないという答えて今回の二連の報道は、報道機関の取材によるものであり、本社としての公式な発表ではないとの報告も受けています。

また、本市に与える影響の認識については、イトーヨーカドー豊橋店は、藤沢町商業地域の中心核として地域に密着し、地域の発展に大きく寄与してきました

が、閉店した場合に最も大きく影響するのは、物販の売り上げの減少であります。また、隣接するホテルの外国人観光客の利便性の面でも影響があると考えられますが、本市が宿泊地点として立地的優位性を持つていることと変わりはしないことから、外国人宿泊者の急激な減少はないものと考えています。

今後の対応については、本市では、豊橋駅と藤沢町周辺のみが商業地域に指定されており、10000平方メートルを超える大規模集客施設も立地可能な商業集積エリアに位置付けられている商業・サービス業の中核を担う重要な地域であるため、藤沢地区の商業の衰退につながるような、親会社、建物管理会社等に必要ない働きかけができるように今後の動向に注視していきたいと考えています。

その他の質問項目
・再生可能エネルギーに関する本市の対応について

新しい学校教育の

取り組みについて

無所属

川原元則議員



問 豊橋市としてのアクティブラーニングやプログラミング教育といった新しい教育を取り入れる上での課題について聞きたい。

答 新しい教育を取り入れる上での課題については、アクティブラーニングやプログラミング教育をはじめ、新しい教育で培われる資質や能力は、これからの時代の流れの中で生きていく子どもにとって必要なものであり、各学校において、確実に展開されなければならぬ教育活動であるとと考えています。

そのためには、全ての教員が新しい教育を正しく理解し、その教育活動を通して育つ子どもを具体的にイメージしながら、教員としての力量を向上させていく必要があります。

本市としては、国や県の新たな動きを注視しつつ、先進的な研究実践等も取り入れながら、教員研修に反映させるよう取り組んでいきたいと考えています。

ます。また、併せて、こうした研修が十分に行えるよう現行の研修については、見直しと精選を図り、教員の負担についても配慮する必要があると考えています。

用語解説

アクティブラーニング

教員による一方的な講義形式とは異なり、児童生徒の能動的な参加方式を取り入れた学習法の総称。代表例として、グループディスカッションがある。

その他の質問項目
・子どもたちの睡眠に関する認識について

本市の生活排水処理政策について

まちフォーラム

深山周二議員



問 下水道事業第8次拡張事業の総括と新たな事業計画の考え方や、戸別浄化槽の維持点検率向上への取り組み、考え方について聞きたい。

答 第8次拡張事業は大岩、二川地区の整備を完了し、吉田方排水区に雨水幹線等を整備しました。

新たな下水道事業計画の考え方としては、土地区画整理施行地区の橋良、吉田方、牛川の3地区において整備を進めるとともに、未着手地区の東三ノ輪、岩西、三郷地区は、重要な都市施設として位置付けられていることから生活排水処理は公共下水道で行う予定です。更に、耐震化など大規模地震に備えた取り組みも必要と考え、第1次再整備事業として5年間で123億円を計上し、計画的に施設の長寿命化・耐震化を進めていきたいと考えています。

財政見通しについては平成32年度までの上下水道ビジョン後期

事業計画において、バイオマス資源利活用施設運営事業による経費削減効果により、収支の均衡が図られる見込みとしています。

しかし、より長期的な視点から見ると、人口減少等により下水道使用料の増収が望めない厳しい経営環境が想定されます。その一方で、施設の老朽化にも的確に対応することが求められるため、将来的には下水道使用料の改定も視野に入れた経営が必要と考えます。

次に、戸別浄化槽の維持点検については、法定検査等の契約を義務付けて職員が戸別訪問を行っています。今後は、保守点検事業者や清掃業者と連携して幅広く啓発を行うことで、水質保全の重要性や適正な維持管理の必要性を訴えていきたいと考えています。

その他の質問項目
・将来の本市における交通体系について

総力を傾けた未来を築く

観光振興について

自由民主党豊橋市議員

伊藤篤哉議員



問 観光に取り組み意義や人材育成、魅力の磨き上げ、新たな取り組みなど、インバウンド観光・東京五輪・ええじゃないか150周年・産業観光・広域観光・観光情報発信等を踏まえ聞きたい。

答 観光振興は、雇用創出等の大きな経済効果を生み、また、観光客との交流は、市民・地域に新たな喜びや生きがいを生み出し、取り組む意義は大きいと考えます。

現在でも、若者からシニアまで幅広い方々に御協力いただいておりますが、さらに裾野を拡大すべく人材育成に取り組みでいきます。地域資源の磨き上げは、努力する余地があり、感動を観光客に伝える工夫が必要と考えています。

本市は、外国人観光客に宿泊地として選ばれているため、今後は地域観光や買い物等により、経済的な効果を広げていきたいと考えています。

五輪関連の取り組みは、本市の知名度やイメージ向上の機会と捉え、ドイツ、リトアニアのホストタウンに登録されたことから、相手国との交流場面を世界に配信することで、さらなる外国人観光客の誘客につながると期待されます。

節目の年を迎える「ええじゃないか」は、本市の歴史や時代を生かした観光振興の側面からも、効果的な発信を検討する必要がありますと考えています。

産業観光は、物見遊山の観光にない新たな地域観光の主役となり、本市の産業が改めて再評価されるなど、地域産業の活性化に貢献できると考えています。そのためにも、東三河や三遠南信地域における産業集積を観光の側面から広域で取り組むことが効果的であるとと考えています。

観光に関する地域への効果を指標として示すことは、観光行政への住民理解も深まることから、関連業界の意欲も高まり、効果的であるとと考えています。

豊橋市の地域医療体制について

日本共産党豊橋市議員

鈴木みさ子議員



問 8月に公表された愛知県地域医療構想では、2025年の東三河南部医療圏の必要病床が現在より約20%減、1391床の削減構想などが盛り込まれ、これは東三河3市民病院の病床数にほぼ匹敵する数であり、地域医療が崩壊する懸念があるが、本構想への本市の考え方について聞きたい。

答 地域医療構想は、医療計画の一部に位置付けられ、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる年、いわゆる2025年問題を見据えた構想で、9年後の地域医療体制の姿を表したものです。

本構想において、本市は二次医療圏と同じく、豊川市、蒲郡市、田原市と4市で構成する東三河南部構想区域として位置付けられており、区域内の人口の減少や65歳以上人口の増加を踏まえ、9年後の病床機能ごとの必要病床数が算定されております。それは今後の一定の方向性を

示したものと理解していますが、その位置付けや現行の地域医療計画で定める基準病床数との関係が明確にされていないため、現時点での評価は難しいと考えています。

また、本構想におきまして、東三河南部構想区域の課題として、療養病床が多く、不足する回復機能の病床などへの転換や、在宅医療への移行、県平均と比べて少ない医師、看護師の確保を進める必要性などが指摘されており、こういった課題に沿った検討が必要と考えています。

地域医療構想における必要病床数は地域ごとの状況を分析し、医療ニーズを推計したものであり、病床の削減を目標としたものではないことから、懸念されるような1300余の病床が削減されるようなことはないと考えています。

その他の質問項目
・介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）について

本市の入札制度について

舩基会

寺本泰之議員



問 失格判断基準は、入札価格が低いとされるだけで、積算内容の適正・不適正や履行の可否、調査確認することもなく、一律に失格とする制度であることから、企業努力やイノベーションを阻害するものと問題提起してきた。調査を行い、適正な積算内容であれば契約可能とする考えはないか聞きたい。

答 失格判断基準の制度については、住民監査請求の監査結果、また地裁・高裁での判決においても市の主張が認められており、それぞれ控訴棄却という結果になっていますので、失格判断基準制度を改め、調査を行った上で契約を可能とする一般競争入札に改正する考えはありません。

用語解説

住民監査請求

市民が、市長や市の職員等による違法・不当な行為等があると考えるときに、監査委員に対して監査を求める制度。監査により、当該行為の防止や是正、市が被った損害を補てんするために必要な措置等を求めることができる。



その他の質問項目
・高齢者社会参加支援事業について

動物愛護行政の

今後の展望について

まちフォーラム

星野隆輝議員



問 豊橋市が担うべき動物愛護行政の役割の認識と、愛知県動物愛護管理推進計画を受けた豊橋市の動物愛護行政の取り組みと課題認識並びにそれに対する今後の対応について聞きたい。

答 豊橋市が担うべき動物愛護行政の役割は、「動物の愛護及び管理に関する法律」および「豊橋市動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、動物の虐待や遺棄の防止、適正飼養の啓発を行うとともに、保健所で保護した動物の新たな飼い主への譲渡等により、殺処分数を減らすことであると考えています。

豊橋市の取り組みと課題、その対応としては、愛知県の計画に基づき施策を実施している中で、殺処分数について、昨年度は犬猫ともに愛知県が目標値として設定した平成24年度比30%減に対し、40%以上の削減を達成しました。

県内で総合的に進めていくべ

きものと、各自自治体の現状に合わせた対応が必要なものがあることを認識した上で、終生飼養、動物による危害や迷惑の防止、遺棄防止など、飼い主の責務の啓発、動物愛護団体や関係機関との連携、災害時における危機管理体制の構築など、動物愛護推進の上でさらに取り組むべき多くの課題があると認識しています。

こうしたことから本市の動物愛護行政の推進方策を示す指針の策定が必要と考え、現在その準備を進めているところです。



その他の質問項目

- ・豊橋市における環境行政の現状と諸課題の認識について
- ・豊橋市における平和行政の諸課題と対策について

公共工事の課題について

自由民主党豊橋市議員

市原亨吾議員



問 バブル崩壊以降のデフレ経済の長期化や、財政悪化に伴う建設投資の減少等により、厳しい環境が続いてきている現状であることを踏まえ、社会保険未加入対策について、また、公共工事の一年を通しての平準化および、技術者・労働者の不足について聞きたい。

答 社会保険未加入対策については、平成28年度からの公契約条例の施行に合わせ、本市独自に設定要件を強化し、入札参加資格申請時に、全ての登録事業者に対して社会保険等の加入を条件としています。また、下請け事業者は元請け事業者を通じ、工事に携わる全ての事業者の施工体制台帳の写しが市に提出されるため、その時点で社会保険等の未加入がある場合は指導を行っています。

公共工事の一年を通しての平準化については、発注時および工期末が一時期に集中しないよう、年度当初の早期発注をはじめ

め、四半期ごとの執行や債務負担行為を設定し、前倒し発注を行っています。公共工事の平準化は、入札不調対策、企業経営の健全化、労働者の処遇改善に寄与するものと認識して、今後もこれまで以上に取り組んでいきたいと考えています。

技術者・労働者の不足については、建設現場の技能労務職の高齢化、若手入職者の減少等の構造的な課題が生じているため、企業の存続に関わる重要な問題となっていると認識しています。公契約条例では、公契約審議会を設け、事業者側と労働者側の双方から意見を伺うとともに、各種関係団体とも意見交換を行いつつ、実効性のある取り組みを行ってまいります。

その他の質問項目

- ・地域の社会基盤と安全安心を守るための施策について
- ・学校給食における食品ロス削減に向けた取り組みと食育について

統廃合を含む

小学校数の適正化について

豊橋たいすき会

長坂尚登議員



問 6月定例会で「人口減少化に対応した学校の在り方について、統廃合を含めた検討」の答弁があったが、豊橋市の小学校52校のうち、児童数の少ない順、新設校の設立順、校舎の古い順、二つの小学校校間の直線距離が小さい順に、10程度ずつ聞きたい。

答 平成28年5月1日現在において児童数が少ない順としては、賀茂小学校の68人を筆頭に、嵩山、下条、谷川、細谷、西郷、小沢、豊南、旭、そして183人の八町小学校と続きます。

次に、小学校の設立順としては、昭和52年度開校の幸小学校以降、鷹丘、豊、芦原、飯村、富士見、中野、二川南、汐田、そして、現在最も新しいのは平成7年度開校のつづしが丘小学校です。

続いて、校舎の古い順としては、昭和31年度建築の向山小学校以降、下地、八町、福岡、二川、杉山、津田、植田、豊南、そして、昭和38年度に建築された花田小学校と続きます。

最後に、二つの小学校校間の直線距離が近い順は、福岡と中野、八町と旭が約0.4キロメートルと最も近く、花田と羽根井、栄と福岡、松山と新川、牟呂と汐田、松山と羽根井、東田と旭、向山と旭、そして、約0.9キロメートルの中野と栄、新川と向山という状況です。

最後に、二つの小学校校間の直線距離が近い順は、福岡と中野、八町と旭が約0.4キロメートルと最も近く、花田と羽根井、栄と福岡、松山と新川、牟呂と汐田、松山と羽根井、東田と旭、向山と旭、そして、約0.9キロメートルの中野と栄、新川と向山という状況です。

その他の質問項目

・多様な家族構成・家族の在り方への寛容性と、その支援・対応について
・豊橋ふるさと大使制度など、外部人材の活用について

本市の3歳未満児保育の

課題について

日本共産党豊橋市議団

中西光江議員



問 本市での保育所等の設備および運営に関する基準について聞きたい。また、国は待機児童解消に向けての緊急的な対応のため、国の定める人員配置基準を上回る基準を設定する市町村に対し、上回る部分を活用して一人でも多く児童を受け入れるよう求めているが、本市の考えを聞きたい。

答 本市では、より充実した保育を実施するため、国の定める人員配置基準や面積基準を上回る基準で保育を実施しているところ。3歳未満児における国基準では、0歳児3人につき保育士1人以上、1、2歳児6人につき保育士1人以上となつていますが、本市では、1歳児では4.6人、2歳児では5.2人に対して保育士を1人以上配置するよう、国基準を上回る、より安全で質の高い保育に努めています。また、面積基準についても、子ども1人当たりの面積が定められており、国基準で

は乳児室の面積は子ども1人につき1.65平方メートル以上となつていますが、本市では計画的に増築、または全面改築する際に1人につき3.3平方メートル以上の面積を確保するよう、国基準を上回る、施設整備を進めているところです。

また、国基準を上回る本市独自の基準については、保護者の就業形態の変化により、年度途中に希望する園の入園が難しいといった場合もあることから、保育が必要な子どもたちをなるべく多く受け入れられるよう、認定こども園への移行を進めるなど、保育環境の整備に努めているところです。

より安全で質の高い保育のため、引き続き現在の人員配置基準を堅持しつつ、安心して子どもを預けられる保育環境づくりに努めていきたいと考えています。

その他の質問項目

・市営住宅における諸課題について

公園における地域猫の

課題認識について

公明党豊橋市議員

尾林伸治議員



問 大きな公園の周辺では、野良猫の生息数の多さから苦情やトラブルが多いと聞く。そこで、大きな公園での地域猫の現状と課題認識について公園管理者、保健所それぞれの認識と対応および地域猫活動に至るまでの前段階における関係機関の連携について聞きたい。

答 公園管理者としては、地域猫に取り組んでいるところにおいては、公園利用者に対し、地域猫への正しい理解を求める看板の設置、また、お世話をしている方々に対してはえさやりの方法や糞尿の後始末などのルール看板を設置するなどの対応をとっています。

しかし、活動が定着していくと、捨て猫を誘導することになリかねず、地域の負担が増加するなど問題解決を遅らせることにならないか懸念されています。したがって、今後も地域猫に関しては、保健所との情報共有を図りながら、より良い在り方について引き続き検討を行っていきたく

いと考えています。

保健所は、飼い主のいない猫を地域の協力を得て合意されたえさやり等のルールに基づいて適切に管理するのが地域猫活動で、活動場所は猫が生息していれば公園も含まれ、管理者の了解を得て実施していると認識しています。

対応としては、地域住民からの地域猫不妊去勢手術費補助金の申請に対し交付するのとともに、地域猫活動を実施しようとする個人や団体の求めに応じ説明と助言を行っていきます。合意されるルールについては、地域ごとの状況にあったもので、参加する人や団体が異なり担う役割も違うため、個別の相談により対応してきます。

今後も二つつ丁寧な対応を行い、地域猫活動の普及に努めていきます。

その他の質問項目

平成28年1月より発行が始まったマイナンバーカードの本市の状況について

12月定例会の開催日程(予定) 会期:11月28日(月)~12月16日(金)

月日	時間	会 議	場 所
11月28日(月)	13時	● 本会議	議場 (西館8階)
12月 5日(月)	10時	● 〃 (一般質問など)	
6日(火)	〃	● 〃 (〃)	
7日(水)	〃	● 〃 (〃)	
	散会後	一般会計予算特別委員会 (正副委員長互選)	
8日(木)	10時	常任委員会(議案審査など)	第2委員会室 (西館7階)
9日(金)	10時 13時	〃 〃	
12日(月)	10時	一般会計予算特別委員会 (補正予算審査など)	第1委員会室 (西館7階)
16日(金)	13時	本会議(議決など)	議場 (西館8階)

※日程は変更になる場合もありますので、傍聴の際には議会事務局(51-2920)までお問い合わせください。
その他、市議会に関することはホームページでもご案内しています。
<http://www.city.toyohashi.lg.jp/gikai/>

議会を動画で見よう。

● マークの日に、インターネット、ケーブルテレビで、本会議の中継を行っています。また、過去のものはインターネットで録画配信しています。

議会を見よう。

豊橋市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に、豊橋市役所東館7階の議会事務局窓口までお越しください。

議会に参加しよう。

豊橋市議会に対して、陳情等を提出することができます。お手続きに関しては、議会事務局議事課(電話51-2920)へお問い合わせください。

議会を読もう。

豊橋市議会だよりは、2月、5月、6月、8月、11月に発行します。是非、皆さんの生活にかかわる議会の活動を知る時間にしてください。

発行 豊橋市議会
編集 豊橋市議会だより編集委員会

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地
TEL : 51-2920 FAX : 55-9020 ✉ gikai-giji@city.toyohashi.lg.jp



これからだんだん寒くなるよ!
体調管理には気をつけよう!

健康とよはし Mascotキャラクター けんとかん